

竹原和義議員

アグリバイオと電磁冷凍

問 ハイドロゲル・シートの有効活用について

答 ゼリーのようなゲル状の物質に水や養分を吸い込ませたハイドロゲル・シートを活用した栽培方法は、農作業の省力化が図られるなどの特徴があると言われている。市でも、新しい技術や栽培方法の情報収集とともに検証を進め、遠州中央農協等へも積極的に情報提



クラウンメロン

供したい。

問 クラウンメロンと電磁冷凍について

答 食品の組織を破壊することなく、うまみと鮮度を保つことができる電磁冷凍の技術は、食品流通にとつて画期的である。活用によっては、新たな販路の拡大も期待されるので、クラウンメロン支所にも紹介したい。

地域団体商標権

問 「クラウンメロン」に袋井の地域名を入れて地域団体商標を登録申請することについて

答 まずは、クラウンメロン支所にお話をしたい。地域名を入れて地域団体商標を登録することで、より有利に商品展開できるならばよいことだと考える。

田中克周議員

「早寝・早起き・朝ごはん」運動について

問 乳幼児期の取り組みが特に重要と考えるが、保護者への啓蒙は。

答 学級や講座等を通して、引き続き家庭教育の充実や健やかな体づくりのための事業に取り組み、保護者への啓蒙を図りたい。

問 食育の観点から、栄養教



市民活動団体の活動拠点となっている「ふらっと」

論の配置が必要と考えるがどうか。

答 栄養教諭の資格を取得するため、現在3人が認定講習を受講中である。県も具体的な検討に入る意向とのことなので、配置に向け、働きかけたい。

協働まちづくりセンター「ふらっと」について

問 開設以来7カ月が経過した。活動状況及び課題は。

答 12月1日現在、42の登録団体が自主的に活動している。利用者同士のコミュニケーションも増え、団体間の結びつきも深まっている。課題は、施設利用促進のための情報提供不足、昭和62年建築の施設のため、一部にユニバーサルデザインや利便性に欠けることなどである。